



よねざわ

市議会だより Vol.139

平成27年11月1日 発行

写真提供：『米沢郷土料理レシピ集 おわえなえ』（米沢商工会議所女性会 編集発行）
表紙協力：米沢生物愛好会会長 石栗正人氏

連載

『かてもの』其ノ弐

「かてもの」とは、比較的よい収穫を上げられる作物や山野に自生する植物で、

現代とは無縁である飢餓に対する上杉鷹山公の知恵から生まれた「備え」でした。

「ひょうの辛子和え」は、さつと茹でて辛子浸しにします。ひょうは、夏の代表的な雑草です。

「ぜんまいの煮物」は、干しぜんまいを水で戻し、糸こんにゃく、人参、油あげと一緒に煮ます。

ともに天日で干して保存食としても食される、私たち米沢人にとって身近な逸品です。



ひょうの辛子和え



ぜんまいの煮物



▲本会議での採決の様子

9月定例会

2日～29日

平成26年度 決算案件13件を認定

平成27年9月定例会を2日から29日までの28日間の会期で開会しました。

初日の本会議では、6月定例会で継続審査となった請願1件について、総務文教常任委員長から報告が行われ、採決では賛成少数で不採択となりました。次に、報告案件2件を了承し、「米沢市教育委員会委員の任命について」に同意した後、議案27件及び請願1件を各委員会にそれぞれ付託しました。

4日、7日、8日には、20名の議員による一般質問が行われました。

9日から11日及び14日までの4日間を決算特別委員会に当て、一般会計・10特別会計及び2企業会計における平成26年度の各決算について審査を行いました。

15日には総務文教常任委員会、16日には民生常任委員会、17日には産業建設常任委員会をそれぞれ開き、議案及び請願についての審査と現地調査を行いました。

18日には、予算特別委員会を開き、補正予算案件3件について審査を行いました。

24日には、市立病院建替特別委員会を開き、所管調査を行いました。

最終日の29日の本会議では、各委員長報告が行われ、決算案件13件を認定するとともに、補正予算案件などの議案14件をすべて原案のとおり可決しました。

今定例会に提出された請願1件については採択となり、意見書の提出に係る発議1件を可決し、9月定例会を開会しました。

常任委員会

9月15日～17日に開かれた常任委員会から
質疑の主なものをお知らせします。

総務文教

▼米沢市まちづくり総合計画基本構想及び基本計画の策定について

本案は、本市まちづくり総合計画について、平成28年度から平成37年度までの10年にわたる基本構想及び平成28年度から平成32年度までの5年にわたる基本計画を策定するため、米沢市総合計画策定条例第4条の規定により提案するものです。

【委員】 まちづくり総合計画で示された将来ビジョンを市民と共有するために、どのような取組みを考えているか。

【総合政策課長】 市民に身近な施策について、成果という形で共有していくことを考えています。共有化の重要性は認識しており、他の自治体の様々な取組みも研究し、共有化を図りたいと思います。

【委員】 重点事業に教育に関する事業がないが、小中一貫校に対する考えは。

【教育長】 教育に関しては、国の様々な教育改革の施策、また数多くの課題があり、適正規模適正配置の問題も含めて、改めて検討委員会を設置し、最初から検討していきたいと考えられています。

◎採決に当たって（意見）

【委員】 市庁舎の耐震対策について、第一期実施計画では方向性を文言として盛り込んでいきたいとの答弁であった。市庁舎には市民も数多く来庁され、また何百人という職員も働いており、さらには、大規模災害時には最も大事な防災拠点となる。こうしたことから最も重要な公共施設の一つであるため、市庁舎耐震化対策の方向性は一刻も早く、示していただきたいと強く申し上げて賛成する。

▼米沢市市民ギャラリーの設置及び管理に関する条例等の一部改正について

本案は、市民ギャラリー及びまちなか駐車場の開設の日並びに市立米沢図書館の移転

日を変更するものです。

【委員】 工期延長にかかわる議案や、補正予算などが議決されたのち、次の定例会で開会日の変更を提案する考えはなかったのか。

【教育管理部長】 開館日が延期されることで、指定管理者への委託期間変更についても議決が必要となります。また来年度予算にも関連するため、今定例会以降での提案では難しいと考えます。

◎採決に当たって（意見）

【委員】 延長されるこの期間を利用して、中心市街地活性化に向けた取組み、そして新文化複合施設と周辺との連携により、にぎわいを創出するために具体的な検討を進めていくよう求め賛成する。

民生

▼米沢市手数料条例の一部改正について

本案は、行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用に関する法律の施行に伴い、通知カード及び個人番号カードの再交付に係る手数料を定めようとするほか、規定の整備を図ろうとするものです。

【委員】 個人番号カードを持つメリットは何か。

【市民課長】 今のところ、本人確認書類、公的な身分証明書として利用できることです。また、平成29年7月からは、様々な行政サービス等で地方自治体間の情報連携ができることです。

【委員】 一番課題になるのは個人情報流出問題であるが、セキュリティの確保にかかると作業は行われているのか。

【市民課長】 庁内で連携を図り、国の通知どおり検証作業等を行っております。

◎採決に当たって（意見）

【委員】 マイナンバー制度では、個人情報の流出問題が問われている。また、個人番号カードを持たなくても、今までどおり行政サービスを受けることができることから、マイナンバー制度自体を、もう少し検討する必要があると思うので反対する。

▼米沢市市民バスの設置及び管理に関する条例の一部改正について

本案は、市民バスの米沢・松原）関根線を廃止しようとするほか、運行路線名について規定の整備を図ろうとするものです。

【委員】 現在、バスの利用率が高いと推測される地域が、バスの空白地域となっているところもあることから、運行路線の見直しが必要と考えるが、今後どのように検討していくのか。

【環境生活課長】 運行路線の見直しについては、公共交通全体の担当部署と協力しながら考えていくこととなりますが、今のところ、見直しの時期は決まっていない状況です。

【委員】 新まちづくり総合計画における前期重点事業として、「コンパクトなまちづくりの推進」、「公共交通の充実」を掲載しているが、公共交通を抜本的に改革しなければ、コンパクトなまちづくりは進まないと考ええる。早急に、将来展望を計画しなければならぬのではないか。

【環境生活課長】 スピード感がないとのご指摘もいただいておりますが、今後も公共交通について検討し、市民の皆様への足の確保を実現してまいります。



産業建設

▼米沢市新文化複合施設新設建築工事請負契約の一部変更について、同機械設備工事請負契約の一部変更について、同電気設備工事請負契約の一部変更について

これらの案は、完成工期を平成27年12月10日から平成28年3月15日に延長するほか、工期延長に伴い現場管理費用や冬期対策費用等が発生することから、契約金額を建築工事にあつては1119万2040円を、機械設備工事にあつては、1134万4320円を、電気設備工事については780万5160円を増額し、契約を変更しようとするものであります。

【委員】 今後市立病院等の大きな施設の建設も控えており、豪雪を前提に冬場における工期の見直し等も、必要になってくるのではないか。

【市長】 ある工程の時に、豪雪になった場合にどうするかというところまで深く検討して、さらに、さまざまな選択肢も準備して、取りかかっているべきだと思っています。担当職員がそういうことの力量をつけていくということが極めて

て大事で、そのように指導していきたいと思います。

【委員】 今後インフラライドの請求はあるのか。

【建築住宅課長】 機械設備工事及び電気設備工事についてはいまのところ請求はなく、建築工事については、請求の意思を業者から示されておりません。

【委員】 今後天候等で工期に影響を受ける想定はしていいか。

【建築住宅課長】 10月の中旬には屋根がかかり終わる予定であり、内装工事に関しては、雨、雪の影響は受けずに予定通り進むと考えています。また、外装工事も12月の中旬で終わる予定で、天候の影響は考えておらず、設備工事についても、若干外周りの工事はあるものの、主に屋内の工事であり、影響は受けないと考えています。

【委員】 工事の完成検査の完了が年度内に終了しなかった場合の補助金等の返還額は。

【総合政策課長】 少なくとも、今年度の補助金等の交付はなく、過去に交付のあった補助金等とあわせておおよそ12億円の不交付及び返還が想定されます。



市民平和クラブ
太田 克典 議員

「財政健全化計画(案)を踏まえて」

下水道事業に関わる内容は、

〔市長〕一般会計からの繰出金を抑制するため、*資本費平準化債を発行して公債費の償還を後年度に平準化し、使用料単価も見直します。

今後、下水道への接続をど

のように図っていくか。

〔市長〕接続される方の負担を少しでも軽くするため、現在、下水道普及促進補助金制度と融資あっせん及び利子補給制度を設けています。

また、職員等による訪問活動をを行い、引き続き接続率向上に努めていきます。

汚水管の長寿命化を計画的に進めていく必要があると思

うが、どう考えているか。また、その財源はどのようにするか。

〔市長〕今後、長寿命化対策を含めた改築計画の策定を検討していきます。

また、財源については、補助事業の下水道長寿命化支援制度を活用する考えです。

財政健全化計画(案)について、今後どのように市民の理解を得ていくのか。

〔市長〕個別の施策については、市民の皆様にご説明して周知を図り、議会や審議会等でのご意見を踏まえながら実施していきます。



嘱託職員の業務の内容と任用根拠、総務省通知について

本年6月定例会で、市民課窓口業務の民間委託に関して一般質問があった。民間委託できない理由について、どのように答弁していたか。

〔市民環境部長〕指揮命令監督下に置かなければならぬ業務であるため、一括してお任せできないと申し上げました。

指揮命令監督下にあるということは労働者性が高いということである。そのような職場で嘱託職員を非常勤特別職として任用することは、総務省通知に反するのではないかと。

〔総務部長〕法の趣旨に全て一致してはいないとの認識は持っていますが、適正の範囲にあるだろうと考えています。



一新一会
鳥海 隆太 議員

〔仮称〕米沢市新総合計画(案)の重点事業について

道の駅新設は、これからの米沢のためにどう寄与させるのかが非常に重要であると思

うが、経営理念、設置理念は何か。

〔産業部長〕「県の南の玄関口として訪問客のおもてなしをし、観光情報を発信しながら、

広域観光の推進により交流の拡大を図るとともに、道路利用者への安全確保を図ること」「市民も集える施設とし、地域住民の交流を図り、市民の安心安全とゆとりや楽しみのある生活に寄与すること」「米沢ブランド創造のための六次産業化を推進し、地域産業の振興を図ること」を整備目的としています。



市民に喜んでもらえるような施設でなければ観光客も楽しめない。公的にお金を使うのだから、市民の福祉と幸せ、楽しいことを突き詰めて設置をし、その力で呼び寄せる、

人を集めてくるということが大切だと考える。そのために、基本理念、設置目的の部分を、観光客中心ではなく市民に軸足を置いた考え方は持てないか。

〔産業部長〕さまざまなイベントの企画や今後運営を進めていく中で、市民の皆さん方にどのように楽しんでいただ

るか、細かい部分も事業計画に取り込みながら考えていきたいと思っています。

観光客に軸足を置いた場合の問題点は、土・日はお客さんが多く、平日はがらんとしていることだ。

平日に訪れる人を増やすために経営計画をどうするのか。また、収支計画をどうしているのか。

〔産業部長〕収支計画を含めた運営会社の経営計画は、現在、原案づくりを進めており、まとまり次第、議会にご報告をしていきます。

平日と土・日の客数を想定した事業も含めて収支計画を練っているところです。



*資本費平準化債：資本費（＝借入金）の償還金を新たな借入金で賄い、負担を後年度に平準化させる地方債



いっしんかい
一新会

みながわ まきこ
皆川真紀子 議員

予算編成過程への市民参加と公開について

6月定例会の一般質問の答弁において「様々な答弁が

あったが、その後どのようにしたら市民の声が反映できるか検討を行ったのか。」

〔総務部長〕 予算編成過程の公表についてはもう少し時間

を頂戴し、研究させていたいただきたいところですが、現段階で直ちに実施することは難しいと考えています。

職員駐車場有料化について

職員は、市有財産を通勤のための駐車場として一時的に占有していることから、受益者負担の原則、市有財産の有効活用及び厳しい市の財政の

一助になるなどの観点で、駐車料金を徴収すべきではないのか。近隣企業に勤める場合、月5千円から8千円の相場で借用するのが現状である。

〔総務部長〕 駐車場の有料化すれば市と職員の間で賃貸借契約が生じ、一般的には、その契約期間中、市が職員の駐車枠を確保する義務があります。この場合、職員の駐車場に空きがあるにもかかわらず駐車することができないことも想定されます。

以上のことから、現時点において有料化することは難しいと考えておりますので、ご

理解をお願いいたします。



▲市役所庁舎前の駐車場

寒冷地手当の廃止について

寒冷地手当については昭和32年に条例で定め、職員の世

帯等の区分に応じて支給されているが、約60年前の条例は時代にそぐわないので見直すべきではないか。

〔総務部長〕 地方公務員の給与は均衡の原則により、国に準ずることとなっています。

また、本市は、県の人事委員会の勧告に準じ、職員に対して寒冷地手当の必要性を認め、支給しています。

本市の厳しい財政状況に対してのご提言ですが、改善に向け、給与等の独自削減を行っており、寒冷地手当の見直しは検討していません。



いっしんかい
一新会

やまむら
山村 明 議員

財政と基金の取り崩しは

平成26年度の一般会計は、実質単年度収支がマイナスであったことから、基金を取り崩して対応した。今後、人口が減少し、さらには、高齢化社会となった時に基金を取り崩さなければならなくなると思う。基金を取り崩す時期は今ではない。これから先もつ

と大変な状態になると思うがどうか。

〔総務部長〕 地方公共団体の決算は、赤字債を発行することはできませんので、本市の場合、まだ基金があったことから、基金を取り崩して赤字を出さないようにしました。今後の高齢化社会、建物の建て替え等を踏まえると、基金の取り崩しはもつと先であれば

陸上競技場と人工芝サッカー場

良かったと思いますが、赤字を発生させないために、ここ3年、基金を取り崩さざるを得ない状況であったことをご理解いただきたいと思います。

陸上競技場は平成19年9月に4億7365万円で改修され、人工芝サッカー場は平成23年9月から平成24年10月の工期において、6億円の工事費と15億8585万円の土地代で整備されたが、総合運動公園用地は金利と管理費で年間1300万円がかつ

ていた。陸上競技場は改修であり用地費がなかったことから、人工芝サッカー場の整備を先にしていれば、4年間で5200万円の金利と管理費は必要なかったと思うがどうか。

〔教育長〕 陸上競技場は、平成18年に公認更新の時期を迎えました。また、全天候型改修の機運が高まり、土のグラウンドの更新を見送った経過がありました。また、建物やスタンドは十分に利用できると考え、建設コストを低く抑え、工期の短縮も可能であると判断したところ。一方、人工芝

サッカー場は用地の確保と夜間照明も含め相当額が見込まれ、複数年で計画的に整備すべきと考え、現陸上競技場の全天候型への改修を優先したところ。です。



▲利用率の高い人工芝サッカー場



こうめい
公明クラブ

やまだ ふさこ
山田富佐子 議員

老人福祉センター
寿山荘の継続について

寿山荘の役割は、高齢者の健康の増進や生きがいづくりの推進、閉じこもりの防止など、高齢者の大切な居場所であり継続を希望するがどうか。



▲継続の要望のある寿山荘

〔健康福祉部長〕 寿山荘は、築48年で、建物及び設備の老朽

化が著しく進んでいます。維持管理経費は、市の持ち



いっしんかい
一新会

あいた
相田 光照 議員

学校管理下における安全・
安心な生活の徹底について

今年2月の積雪による南原小学校体育館の屋根破損事故二度にわたる西部小学校の倒木事故。これら事故を踏まえ、学校生活における子供たちの安全は、しっかりと管理されているか。

〔教育長〕 学校施設管理は条例

及び管理規則等で定められており、校長は教育委員会と連携し、学校の施設設備を管理する責任があります。校長指導のもとで職員が分担し、安全計画に基づき定期的に校舎内外の施設や設備状態を点検・管理し、危険箇所の把握と改善に努めています。管理していたにもかかわらず、なぜ事故は起こってしまった

出しが年間約2500万円で、厳しい財政状況の中、大きな財政負担となっており、平成29年3月末をもって施設の廃止を考えています。

廃止後の代替施設について

〔健康福祉部長〕 相談窓口は、高齢福祉課と市内4カ所の地域包括センターで、健康活動やレクリエーション等の場合は、すこやかセンター・公民館・各コミセン・地域の社会資源の活用を検討していきます。

健康マイレージ制度の導入を

たのか。また、未然に防ぐことはできなかったのか。

〔教育長〕 屋根破損については積雪深のみを判断基準とし、雪おろしの指示を出さなかったことが原因と考えています。降雪量や積雪の重み、豪雪対策本部の設置等を考慮に入れているれば事故を防げた可能性が高いと考えています。また、倒木や枝折れについては、一度目で危険回避の対策まで行うことは難しかったと思っています。

二度と事故を起こさないためにも、学校樹木をリスト化して管理してほしいか。

この制度は健康づくりの動機づけとして、健診やがん検診、健康教室への参加、日々の健康づくりの活動等をポイント化し、楽しみながら病気をやけがの予防を推進する事業であり、医療費の削減や介護保険料の抑制効果にも寄与すると考える。健やかに幸せな生活をとの意味から「健康」と置き換え、提案するがどうか。

〔市長〕 本市は、特定健診やがん検診の受診率が県内でも低く、健康意識を高めるきっかけとして有効であると考え、「よねざわ健康マイレージ」と

〔教育長〕 全小中学校の学校敷地内の樹木を位置・樹種名・目視での状態確認などを記録するリストの刷新作業を進めており、そのリストを学校と教育委員会で共有し、しっかりと連携して児童生徒の安全確保に努めています。

昨年、広島県三原市で市所有施設内の樹木が倒れ、2名の死傷者を出した事故が起きた。この事故からも、造園士や樹木医など専門家による樹木診断を行い、子供たちの安全・安心な生活の徹底に努めるべきと考えるがどうか。

〔市長〕 学校の先生は樹木の専

して10月からの実施に向け準備を進めています。

読書通帳の導入について

近年、活字離れが指摘されている。読書意欲を高める取り組みとして、新図書館に、読書の記録を将来にわたり残すことのできる読書通帳を導入してほしいか。

〔教育長〕 新規登録者数や貸出冊数の増加も見込まれ、市民に親しまれ、利用されるという大きな役割もあることから、導入が可能か総合的に検討していきます。

門家ではないので、学校側が危険と思った樹木は、専門家が学校を回り診断できるように検討したいと思います。



▲学校樹木の徹底した管理を



一新会
いっしんかい
一 新会

島軒 純一 議員
しまのき じゅんいち

持続可能な行政運営について

首長として、人間関係を構築しながら行政運営を行うことは、重要なことだと思います。近隣市町の首長や県知事、

県議会議員そして国会議員などと「気楽な情報」をもらえ

るくらいの人間関係を築いていくことが必要だと思いますが、そうしてはいないことを指摘

する声もあるがどうか。

〔市長〕 他市町の首長、国会議員、県知事、県議会議員などの人間関係の構築というのは、市政運営上極めて重要であると思っています。

米沢のネームバリュー向上に農業をどう生かすか

本市は、米沢のネームバリュー向上に大きく貢献して



明誠会
めいせいかい
明誠会

島貫 宏幸 議員
しまぬき ひろゆき

義務教育と地域の関わりについて

学校運営の現状と今後の課題について、どのように認識しているか。

〔教育長〕 山形県が6月に「学校の特色ある教育活動について」の調査を行った結果、活動の効果として「ふだんできない体験ができる」「学校・地

域等への理解が深まる」とした小中学校が半数以上ありました。一方、課題として「教師・支援者の負担が大きい」「活動時間の確保が難しい」とありました。これらの課題解決策として、学校運営を行う上で保護者や地域との連携、協力が不可欠であることを改めて認識しています。



〔教育長〕 コミュニティスクール（学校運営協議会制度）の調査や研究、導入に向けた検討等の実績はあるか。

〔市長〕 コミュニティスクール（学校運営協議会制度）の調査や研究、導入に向けた検討等の実績はあるか。

農林業政策について

現状と課題についてどのように認識しているか。

〔市長〕 生産資材価格の高騰や農産物、木材価格の低迷などにより厳しい経営状況が続いている。保護者や地域住民が、一定の権限と責任を持つて学校運営に参画することで、そのニーズを迅速かつ的確に学校運営に反映させ、よりよい教育の実現に取組むことを目的にしています。導入時の課題や地域の特性を勘案し、今後、導入の必要性を含め研究を重ねたいと考えています。

〔市長〕 本市農業の大きな課題の一つに周年農業の実現が上げられます。安価で安定的な再生可能エネルギーを活用できれば作付けできる品目も増え、冬期間の農業生産には大変有効であると考えます。各地の事例を調査し、実用化の可能性について検討します。

いる米沢牛の本家本元でありながら、生産頭数が少ない状況にあり、置賜地区の中でも生産頭数が伸びていない。また、雌だけを米沢牛として認定していることもあり、子牛の導入先として置賜地区以外への依存度が高い状況にある。米沢牛をこの米沢で発展させていくことがブランド確立の基本であるが、生産維持・向上のために必要なことは何か。

〔産業部長〕 高い肥育技術や厳しい定義に基づく高品質な牛の生産に取組んでいることと米沢牛銘柄推進協議会を中心に関係する機関・団体が一

体となった消費、宣伝活動を行っていることが相まって、全国で乱立ぎみのブランド牛の中でも米沢牛が購買者・消費者から選ばれていると考えます。

米沢牛は、農業振興はもとより、地域経済に大きな効果をもたらしますが、生産頭数増に向けた基盤整備、それを支える人材の育成確保、自給飼料の拡大、繁殖から肥育までの地元一貫体制の確立など大きな課題も抱えています。ブランド力向上と全国のブランド牛との差別化を図るためには、食べておいしい米沢牛



▲米沢牛のさらなるブランド確立を



日本共産党市議員
高橋 英夫

高橋 英夫 議員

発展する米沢へ、まちづくり成功の決め手は何か

業の発展には付加価値を高め、労働生産性の向上を図ることが重要と考えています。

まちづくり総合計画を正しい方向性へ導くには、経済低迷の真の原因について認識することが必要と思うがどうか。

まちづくりは人づくりという視点が重要だが、市長はどう考えているか。

〔市長〕工業製品の地産地消、生産拠点の海外から一部国内への回帰と経済の流れが変化しているように思います。産

〔市長〕小野川スキー場での野外音楽祭では高校生、大学生の運営ボランティアがいて若い人のお祭りになっていました。若い人たちが地元で定



▲米沢野外音楽祭 DOORS TO FREEDOM 2015の様子

着し活躍できる道を開きたいと思っています。島根県海士町の事例のように地元の資源に注目し、自分たちで仕事を立ち上げることも大事と考え

ます。「人、こと、モノ、金」が動くとはどういうことか。今の時代にどのような発想と手法が必要と考えるか。

加し要望を設計に反映し、資金の2割を組合員が出資、参加型の建設を成功させている。このような医療生協による参加型の病院建設で財源を振りかえれば、庁舎の耐震問題もまちづくり総合計画に組み入れられると思うがどうか。

〔市長〕ご意見としてお聞きしておきます。

6月定例会で提案した「コミュニティによる『除雪予約制』」を改めて検討いただきたいがどうか。

〔産業部長〕今年度20代後半から40代の女性をターゲットにした「よねざわ・おきたま女子旅フェイスタブックページ」を立ち上げました。来春は「やまがた花回廊キャンペーン」の主なターゲットを女性にして誘客を図ります。ニーズ調査を行い、女子旅の商品企画を実施する予定です。

〔市長〕再度、議論する場を設けていただきたいと思います。



明誠会

木村 芳浩 議員

定住・移住者の促進と今後の取組みについて

〔市長〕本市の定住・移住促進にとって、移住者への支援策は大変重要であると認識しています。本年度より、空き家

本市へ移住を希望される方々に対して、移住するにあたりメリットになることや魅力ある支援策はあるか。また、人を呼び込むための運動や専門部署を早期に設置する必要があると思うが考えはあるか。

〔市長〕本市の定住・移住促進にとって、移住者への支援策は大変重要であると認識しています。本年度より、空き家活用支援事業補助金制度を創設し、若者起業支援事業や求人情報提供など、制度を充実させ、さまざまな施策を実施していききたいと考えています。本市のメリットについては、

四季折々の自然・歴史・文化・食はもちろん、人の温かさや、おもてなしの心などと捉えています。

専門部署の設置については、住宅、雇用、子育て、農業、その他多岐の分野にわたっていることから、一つの部署で全てに専門的に対応するのは難しく、現行の体制で各課連携を図りながら、取組んでいきたいと考えています。

皆川球場改修工事について

皆川球場は、老朽化が進むとともに、コンクリートのひび割れ、排水管・排水溝の水



▲改修工事が望まれる皆川球場

漏れなどにより、バックネット裏の本部席、控室の雨漏りがひどく、天井が割れ落ちてくる状況にある。早期の改修、

全体の改修計画はあるか。

〔教育長〕皆川球場での有意義なイベントや大会誘致など、本市にとって施設整備はその基本となると認識しています。

電光掲示板の改修以外にも、ラバーフェンスの取りかえ、雨漏り補修、ブルベンの改修等、整備すべき箇所が多々あります。当面、電光掲示板とラバーフェンスの一部改修について、28年度からのまちづくり総合計画の実施計画案に組み込まれるように、関係各課と協議・検討中であり、適正な施設の管理運営に努めていきたいと考えています。



いっしんかい
一新会

なかむら
中村 圭介
議員

地域循環型経済の構築

地域内における「人、もの」の循環を活発にし、地元産業の振興や雇用を生み出すためにも、地域循環型経済の構築は重要である。これまでの本市の取組みはどうか。

〔産業部長〕「米沢市の公共建築物等における木材利用の基本方針」を定めたほか、学校

給食における地場産農産物等の活用を促進するとともに、緊急経済対策として、庁内ネットワーク用のパソコンや有機EL照明器具等について地元企業の製品を優先して調達しました。

また、市民に対しては、米沢市住宅リフォーム補助制度、LED公衆街路灯設置費補助制度等において、地元企業を



活用した場合の優遇措置を講じました。引き続き地元での消費を促し、地域循環型経済の形成を図ってまいります。



いっしんかい
一新会

つつま
堤 郁雄
議員

※第三セクターと市の責任について

第三セクターの赤字が累積した場合、出資比率割合にかかわらず、株主である市長に責任があると考えられるかどうか。

〔産業部長〕株式会社ですので、株を出資した範囲内での責任になると考えます。

何らかの形で市が穴埋めをしなければならなくなった場合、当然市長に責任があると考えられるかどうか。

〔産業部長〕最終的にどこまで責任をとるかにについては、株式会社の有責任の中での議論であり、土地・建物を買って責任をとらなければならぬという話ではなく、法律にのっとった範囲の中で責任を

スポーツ振興と施設建替えについて

負うこととなります。

施設整備にはお金がかかるが、サッカー場を新設したら米沢中央高校が全国大会に出場するなど、環境が整備されれば強いチームが生まれる。施設整備の優先順位は何か。

〔教育管理部長〕総合管理計画の中で、老朽化、竣工時期、要望等を考慮し、順位を決めたいと考えていますが、市全体の計画の中では見直す必要があるかもしれません。利用者、愛好者の人数も重



▲スポーツ施設整備の方針を

要と思うが、市内のスポーツごとの競技人口は把握しているか。

〔教育管理部長〕施設利用人数についてはわかりますが、競技者の数については把握していません。

オリンピックやワールドカップの種目になっているものは、競技人口も多い。そのようなスポーツを優先的に施設整備をしていくとか、市全体の施設整備計画とは別に、スポーツ施設の整備の方針を作るべきと考えられるかどうか。

〔教育管理部長〕本市の方針として実施計画、公共施設等の総合管理計画がありますが、競技者の意見を伺うスポーツ推進審議会の中で施設整備について、今のようなご意見をお聞きしていきます。

地域循環型経済の確立には、消費者、事業者の意識変革も必要である。農産物、伝統産業、優れた製品、老舗企業といった地域資源や地域産業についての理解を深め、地域愛を醸成するためにも啓発活動が必要と考えられるかどうか。

〔産業部長〕意識啓発に積極的に取り組むべきと考えています。市民が実際に地元事業者を利用していたく機会を積極的に設け、無理なく自然な形で経済循環が図られるような仕組みを構築するとともに、地域循環型経済の意義をご理解

いただき、積極的に行動していただけるよう意識啓発の取り組みを工夫したいと考えています。

地元農産物や製品、伝統品等、市内における全ての消費を促進するために、現在各課で策定している振興策や消費促進策について一元化した行動指針（計画書）を策定し、本市として地元消費をどう支えていくのか意思表示をし、力強く推進してはどうか。

〔産業部長〕初めてお伺いした提案でしたので、他市の事例等を参考に勉強したいと思えます。

※第三セクター：地域における課題を解決するため、国または地方公共団体（県、市町村）が民間企業と共同出資して設立する法人



明誠会

相田 克平 議員

本市の魅力である※歴史的風致を守り育てるために

古民家や伝統的町並みの保存や利活用を進める施策は。

〔市長〕歴史まちづくり法も含め、本市の状況にふさわしい制度を選択し、歴史的建造物の保存等に活用していきたいと考えています。再現が難しい建造物を少しでも長く保存

していくため、財団法人民間都市開発機構の住民参加型まちづくりファンド支援事業を活用し、現在実施している景観重要建造物等の保存対策事業や、重点地区の景観形成推進事業に加え、歴史的建造物の利活用や黒板塀・生け垣の整備、観光客や市民の憩いの場の創設事業などを進めたいと考えています。

と進めたいと考えています。



日本共産党市議員団

高橋 寿 議員

子ども医療費無料化は一部負担金も無料に

本市も4月から無料化の対象を中学3年まで拡大した。

しかし、米沢市を除く県内市町村の全てで一部負担金も無料にしている。本市も検討すべきではないか。

〔健康福祉部長〕一部負担金を無料とする場合、その費用は



年間2700万円以上となる見込みであり、財政見通しな



▲東寺町にある黒板塀

都市公園や児童遊園にコミュニティ菜園の整備を

施設の有効活用と地域のきずなづくりに効果的と思うが

ど課題もあり、医療機関など関係機関のご意見も伺いながら検討していきたいと考えています。

生活保護の住宅扶助、冬期加算削減の影響は

7月からの住宅扶助減額で、保護世帯に「転居指導」を始める自治体もでていると聞くと本市の対応はどうか。

また、冬期加算も減額されるが、影響はどうか。

〔健康福祉部長〕本市の場合、住宅扶助が減額になる世帯はありません。

冬期加算については、本市

どうか。

〔建設部長〕コミュニティ形成の場としての公園のあり方や、時代にマッチした公園のスタイル等を検討する必要がありますと認識しています。市民農園の整備が可能な国の支援事業等もあり、町内会等への管理委託と合わせ、設置が可能な研究していきます。

〔健康福祉部長〕他市では、地域の意向により児童遊園を廃園し、地域活動のための菜園に貸し付けている事例もあります。課題を十分整理し、少子高齢化の時代に合った児童遊園のあり方も含め、今後の

の場合、いずれの世帯も減額となり、丁寧な説明が必要と考えています。

介護保険法の「改正」による補足給付制限の影響は

施設入所の低所得者には限度額を超えた分の食事代・居住費は介護保険からの給付となっていた。法「改正」で対象外となる方の人数はどの程度か。

〔健康福祉部長〕補足給付対象者666人のうち、対象から外れる方は28人です。

対象外となった方へは通知し、問い合わせには、その理

検討課題と考えています。

高齢ドライバーの重大事故を防止するために

本市の運転免許自主返納者への支援制度は県内最低の水準にあるが充実できないか。

〔市民環境部長〕高齢者運転免許の自主返納支援制度は、増加傾向にある高齢者の重大事故を未然に防止する有効な対策の一つと捉えています。平成28年度に第10次米沢市交通安全計画を策定する中で、関係機関や関係団体等と導入に向けた協議を進めます。

由を丁寧に説明し対応しているところです。

中小企業振興条例を生かした今後の振興策は

具体的な政策はあるのか。〔市長〕この条例は理念型の条例であり、具体的な施策は今年度中に「(仮称)米沢市中小企業振興アクションプラン」として取りまとめる予定です。



※歴史的風致：地域におけるその固有の歴史及び伝統を反映した人々の活動と、その活動が行われる歴史上価値の高い建造物、及びその周辺の市街地とが一体となって形成してきた良好な市街地の環境



市民平和クラブ

我妻 徳雄 議員

ナラ、マツ枯れ対策に炭をまいてはどうか

ナラ、マツなど樹木が大量に枯死するのは異常な状態である。直接の原因は、カシノ

考えられる。また、原因が酸性雨にあるという説があるが、本市の酸性雨及び酸性雪、土壌pHの状況は。

〔市民環境部長〕 本市が昨年度実施した酸性雪の測定では、

ナガキクイムシやマツノマダラカミキリが媒体となり菌が増殖することだが、大量に発生するのは、山が弱っている(酸性化が進んでいる)からと



▲早急なナラ、マツ枯れ対策を

出ている。本市でもナラ、マツ枯れ対策に、炭をまくことを実施してはどうか。

〔産業部長〕 マツ枯れ、ナラ枯れが増加傾向にある中で対策を講じなければなりません。炭をまくことで一定程度の結果が出ているところもあるようですので、取組めるかどうか、その手法等も検討します。

悪臭問題の全面解決に向けて

悪臭の発生源である堆肥製造事業所は、昨年の5月から飼料作物を栽培する事業に転換した。一方の養豚事業所も飼育豚数を45%減産し、臭気

の総量を減らす取組みを実施し、さらに豚舎の移転に向けて調査を進めているようだが、両事業所の現状は。

〔市長〕 両事業所の努力もあって、苦情件数は年々減少し、その範囲も事業所近隣に限定されています。しかし、旧堆肥製造事業所の建物内には1万3千立方メートルの残存堆肥と、大量の破碎チップが保管されたままであり、管理の徹底と早い搬出を促すように指導しています。また、養豚場の移転については、養豚事業所と本市が一緒に移転先の検討をしています。



一新会

佐藤 忠次 議員

〔仮称〕道の駅 よねざわにっしんについて

冬期間の売り上げ確保について、どのように考えているか。

〔市長〕 12月から3月までの冬

期間は、農産物の出荷の確保が難しく、売り上げの減少が懸念されるため、農家の方に出荷できる作物の栽培をお願

特別養護老人ホーム新設について

特別養護老人ホーム建設と

介護保険料との関係は。

〔健康福祉部長〕 介護保険制度は、サービス基盤が整備されるほどサービス利用者が増え、保険給付費が膨らんでいくことになり、相乗して介護保険料も高騰します。

特に、特別養護老人ホーム等の施設サービスは、24時間体制であるため、報酬単価も高く、食費居住費の補足給付として特定入居者介護サービス費も発生することから、保険給付費の伸び率は高くなり、介護保険料への影響が大きくなります。

小中一貫教育を実施する「義務教育学校」について

〔義務教育学校〕の設置を考えているか。

〔教育長〕 「義務教育学校」は、小学校から中学校進学時の環境変化を指す「中一ギャップ」等を抑制する効果があり、設置するメリットは大きいと認識しています。

本市の場合、まずは米沢市立学校適正規模・適正配置等基本計画にも掲げている、一つの小学校から一つの中学校へ進学する学区の変更が必要と考えています。この学区の

変更と同時に小中学校の連携をさらに深め、小中一貫教育のあり方について、また、「義務教育学校」について、検討したいと考えています。



※義務教育学校：学校教育制度の多様化及び弾力化を推進するため、現行の小・中学校に加え、新たな学校の種類として小学校から中学校までの義務教育を一貫して行う学校



いっしんかい
一新会

齋藤千恵子 議員

屋内児童遊戯施設について

市内の子供が遊べる屋内の施設の現状は。

〔市長〕 市内6カ所の保育所に併設の地域子育て支援センター、すこやかセンターや東部・松川コミュニティセンターのプレイルーム、白布森の館等があります。

昨年9月定例会で、子育て

支援の充実の視点から冬期間や雨天時の遊び場の設置について質問したが、実現に向けた検討は進んでいるか。

〔市長〕 空き店舗や公共施設の活用を検討しており、来年度既存施設の改修をして屋内施設を設置したいと考えています。

屋内児童遊戯施設を設置するにあたってのコンセプトは。



いっしんかい
一新会

成澤 和音 議員

旧浅川分校の活用について

上郷小学校旧浅川分校をコミュニティセンターとして活用できないか。

〔教育管理部長〕 施設の活用について、委託管理費用の問題など、地元の方と模索しているところです。現段階での意見は差し控えます。

現図書館の今後について

来年2月に閉館となる現図書館に行政機能を移せないか。

〔教育長〕 文化センター2階の学習室は、自由に使用できる学習空間として引き続き開設し、その他は現在産業会館2階部分を借り受けている教育委員会を設置します。



▲さくらんぼタントクルセンター(東根市)

すこやかセンターの機能拡充について

現在のすこやかセンター1階のプレイルームを拡充できないか。

〔健康福祉部長〕 利用時間は現在午後4時30分までですが、これ以降は管理者が減少し、目が行き届かなくなるため閉鎖しています。ご提案のありました大きなボールプールではなく、おもちゃの配置を検討したいと思います。

子育て支援策について

第3子以降の保育料の完全

の機能等も合わせ持つ施設等、さまざまな検討をしている段階です。

児童虐待の現状と対策について

児童虐待の現状は。

〔健康福祉部長〕 昨年度の通告件数は61件で、そのうち虐待件数は41件です。児童虐待防止推進月間を中心としたPRなどにより、児童虐待に対する関心が高まり、通告件数が伸びていると考えます。

行政としての児童虐待防止のための役割と取組みは。

〔健康福祉部長〕 通告の窓口は、

無料化をできないか。

〔市長〕 第3子完全無料化を実施すると年間約5千万円の追加負担が生じ、財政負担が大きいものであります。

心に残る出産祝いの贈呈を

生まれてくる小さな米沢市民に誕生カードを贈れないか。

〔市長〕 検討事項にします。

授乳室の設置について

授乳室の設置状況と今後の設置促進についての考えは。

〔市長〕 専用の授乳室があるのは、伝国の杜と児童会館の2カ所です。専用の授乳室がな

県の児童相談所と市の児童虐待担当が担っています。また、要保護児童対策地域協議会を設置し、相互に連携して対応に当たっています。

児童相談所全国共通ダイヤル3桁化の広報は。

〔健康福祉部長〕 従来10桁の番号の児童相談所全国共通ダイヤルの電話番号が、今年7月1日からより覚えやすい3桁となり、番号も189「いち はやく」と語呂合わせできる番号になりました。関係機関でのポスター掲示や7月1日号の広報よねざわへ掲載し広報に努めています。

い場合は、別室を活用し、保護者の外出時の負担を軽減できるように工夫しています。

具体的にご提案もあり大変良いものもありますので検討したいと考えています。



▶新たに設置された授乳スペースのマーク



公明クラブ

佐藤 弘司 議員

改正公職選挙法の対応は

改正公選法（18歳選挙権）の成立を受け、新有権者の人数は。また高校生と大学生に対する主権者教育、投票啓発周知の方策をどのように考えているか。

〔選挙管理委員会委員長〕 来年夏の参院選から適用になり、新たに有権者となるのは

1700人程度と予測しています。

副教材との整合性を図りながら、高校生選挙啓発講座を従来どおり開催します。また大学・短大の学生組織との協働により、効果的な啓発活動を模索したいと考えています。

地域おこし協力隊の強化を



▲地域おこし協力隊の活動の様子

おもしろいな地域おこし協力隊の活動と実績、さらに本市への移住・定住を促進する施策にすべきと思うがどうか。

〔企画調整部長〕 輝くわがまち創造事業のサポーター、ふる



一新会

鈴木 藤英 議員

人口減少対策と移住計画について

本市への移住・定住促進の取組みと支援策はどのようなものか。

〔市長〕 移住交流パンフレットを作成し、各種イベント等で配布するとともに、各種ホームページなども活用しながら全国に向けて情報を発信して

います。今後は、本市のさまざまな魅力を知っていただくために、気軽に観光や交流を楽しめるような取組みを検討したいと考えています。

中山間地域振興と農地保全について

農地保全のために、有害鳥獣対策はどのように行っているのか。

農地保全のために、有害鳥獣対策はどのように行っているのか。

〔産業部長〕 平成25年頃から猿の被害に加え、イノシシや鹿の目撃情報と被害が確認されるようになり、今後、拡大が懸念されます。

そのため、有害鳥獣対策に当たるリーダー、地域住民を対象とした研修会を開催しています。また、駆除に際しては猟友会の協力が不可欠であるので、狩猟税や技能講習の免除などによる負担軽減のほか、新たな狩猟免許保持者育成のために、経費を負担する補助制度を設けました。

さらに、今年度は、山形大学や県と連携した地域主体の



▲放任果樹を収穫し、干し柿を作る様子

取組みをモデル事業として実施するとともに、放任果樹を収穫・加工する取組みを国の補助事業を活用しながら拡充する予定です。

特定健診にピロリ菌血液検査の導入を

胃がん検診とピロリ菌血液検査をあわせた2段階構成で選択できる健診にすべきでは。〔健康福祉部長〕 ピロリ菌血液検査は、現段階では国の指針に定められていません。他市では、胃がん検診のオプション

外国人観光客受け入れの基盤整備の状況はどうか。

〔市長〕 観光案内板の多言語表記化、無料公衆無線LANの整備、外国人向けに米沢の観光情報を発信する多言語ホームページの制作に取組んでいます。また、海外からの個人旅行者の観光案内機能の充実も図っています。

森林の整備と地籍調査について

地籍調査における森林境界の確定は、どのように進めていくのか。

〔総務部長〕 国の方針や確定方法を注視しながら担当部署が連携し、少しでも早く森林境界を明確化していく必要があると考えています。しかし、面積が膨大であるため、早急に全地域で地籍調査を行うことは大変難しく、事業推進がわかりやすい農村部から調査を実施しています。

決算特別委員会

〔委員〕収入未済額をさらに減らすよう、徴収一元化への取り組みについて考えているか。

〔総務部長〕一元化による組織体制は効率的と考えますが、専門的に取組んだ方が良い場合もあり、今のところ、関連部署と連携を強化しながら対応していきます。

〔委員〕東寺町景観整備事業費補助金については、一定の成果が得られたのか。また、今後も整備する計画があるのか。

〔都市計画課長〕平成22年度の調査時点で、496メートルだったブロック塀等が、285メートルまで減少し、板塀は延長で約272メートル増加となり、景観整備に寄与したと考えます。四カ年計画の最終年度であったため、今年度の事業計画はありませんが、東寺町のまちづくり協議会の取組みに対する支援について検討しています。

〔委員〕自主防災組織の登録数と、機能していない組織への

啓発は。

〔危機管理主幹〕自主防災組織率は現在約62%です。また、自主防災組織は町内会単位で設立しており、連合会組織として、小さい町内会に声掛けし、合同訓練を実施しているところもあり、そのような方法がほかでもできないか検討しています。



▲防災訓練の様子

〔委員〕3年間の事業であった若者移住促進事業奨励金は、申込み多数により抽せんとなったことから、今後事業継続について検討し

決算特別委員会は、9月9日から11日及び14日の4日間にわたり開催し、一般会計・10特別会計・2企業会計における平成26年度の決算を審査しました。その結果、いずれも認定すべきものと決まりました。決算特別委員会の概要と質疑の主なものは、次のとおりです。

ではどうか。

〔企画調整部長〕一定の効果があつたと考えられ、当奨励金が直接移住につながっていたのかなどを検証し、より多くの若者の移住につながる施策を検討していきます。

〔委員〕生活困窮者自立促進支援モデル事業の詳細は。

〔社会福祉課長〕今年4月の「生活困窮者自立支援法」施行前のモデル事業として、県からの補助を受けて実施しました。生活保護に至る前の救済事業として効果があり、施行されている制度の円滑な運営の助長として、有効なモデル事業になったと考えます。

〔委員〕ファミリー・サポート・センターの利用会員が増えていることから、協力会員も増やしていくような改善はされているか。

〔こども課長〕利用会員は年々増えており、支援される協力会員も、平成26年度は若干増えています。

〔委員〕高齢者等除雪援助員派

遣事業と高齢者等雪下ろし助成事業の手続きは。

〔高齢福祉課長〕除雪援助員派遣事業は、市に登録した利用者に対し、委託しているNPO法人等6事業者が、地区割りで実施しています。雪下ろし助成事業は、利用者が建設事業者や知人と契約していた

〔委員〕乳幼児健康診査の未受診者に対し、どのような取組みをしているか。

〔健康課長〕電話で次回の受診日をお知らせしたり、それでも受診しない場合は、保健師が向いて、受診しない理由や、状況の確認をしています。

〔委員〕高校生の地元での就職促進や若者就労支援にあたって、置賜地区雇用対策協議会の果たす役割等について、どのように考えているか。

〔商工課長〕本市単独での取組みは難しいため、当協議会の事業が、地元への就職や企業



▲決算審査の様子

の人材確保に役立っています。

〔委員〕人・農地プランの推進においては、個人経営のみならず、集落営農の取組みも必要である。そのような観点から進捗状況はどうか。

〔農林課長〕本市は個人営業がほとんどですが、今後の農業のあり方等について話し合いを重ね、農地の集積について形ができてつつある地域もあります。

〔委員〕学校給食における地産地消の推進を図るうえで、冬期間も安定した地場農産物の供給と、大規模校への必要量を賄えない課題に対する取組みは。

〔農林課長〕大規模校にも地場農産物を供給するため、地元

の八百屋を通じて、青果物市場から寒中野菜も含め、地場農産物を供給するシステムを開始し、全校で取り入れられています。

〔委員〕 みどり環境税活用事業と森林体験交流センターの利用がリンクできているか。

〔農林課長〕 みどり環境税活用事業での各種活動においては、森林体験交流センターを有効に活用したいと考えており、平成25年度が313名、平成26年度が401名で、利用拡大に努力しています。

〔委員〕 山形銀行と締結した企業誘致に関する協定の内容は。

〔商工課長〕 金融機関と行政がお互いに情報を生かして、業種や分野を絞り込み、連携して企業誘致活動を推進していくものです。

〔委員〕 米沢コンベンション協会の事業負担金が増加した理由は。

〔観光課長〕 平成25年度は緊急雇用創出事業を活用しており、市の持ち出し分が少なかったことによるものです。

〔委員〕 持ち主不明な危険家屋等が雪の重みで市道に倒壊し、除去せざるを得ない場合の対応は。

〔建設部長〕 市が撤去すること

はできませんが、通行できない場合、道路管理者が一時的に脇に寄せ、通行できるようにしています。最終的には、持ち主に撤去していただくことが基本となります。

〔委員〕 景観重点地区では小野川地区が積極的に取組んでいるが、その他の地区にも広げていくべきでないか。

〔都市計画課長〕 今年度、景観形成の説明会を景観形成重点各地区で実施し、その意見や、景観形成委員会での意見を吸い上げながら仕組みを考えていきます。



▲小野川地区にある黒板塀

〔委員〕 農村部にも空き家があり、当該農地が耕作放棄地になっている現状もある。このような農地の問題に対して対応を考えているか。

〔農林課長〕 新規参入で農業を始めた方にとって、住居と

農地の課題があり、この双方の課題を解決し、一体で活用できる可能性がある事例と考えられるので、今後の新規参入の促進と合わせて検討していきます。

〔委員〕 スクールガイドン事業費において、市単独で適応補助員を配置したことによる成果は。

〔学校教育課長〕 子供の居場所の確保や自分のペースで学校生活を送れるなど、安心して登校できた例があります。また、支援が必要な子供は安心して学級の中で過ごすことができ、担任にとって複数で指導体制がとれるという点が成果としてあらわれました。

〔委員〕 「いじめ対策等生徒指導推進事業費」及び「いじめのない学校づくり推進事業費」の実施状況は。

〔学校教育課長〕 国及び県からの委託金により、教員を対象とした研修会を行い、今年度から教育課程に組み入れ、各校で実施しています。

〔委員〕 新図書館の開設に向けた図書資料購入費と、図書館資料の整備充実に係るものとの違いは。

〔文化課長補佐〕 図書館資料の整備充実に係るものは、これまで同様、現在の図書館に

必要な資料を購入するものであり、新図書館開設準備事業の図書資料購入費については、DVDや一般図書も含め、今後新図書館に必要な資料を購入しています。

〔委員〕 老朽管更新事業費が平成25年度より減少している原因と、今後の更新計画は。

〔水道施設課長〕 平成26年度は、労務単価の増等で入札不調もあり、6工区の予定が3工区の実施となり減少しました。また、老朽管の更新については、平成19年度から平成32年度までに、約24.5キロメートルを約26億3千万円で進める計画で、現在約59.3%の進捗状況であり、計画的に進めていきます。

〔委員〕 個人医業未収金の対応は。

〔市立病院医事課長〕 個人医業未収金は年々減少しており、取組みとしては、患者に限度額適用認定証の活用等を説明しています。また、悪質な場合は、裁判手続きや弁護士に回収を委託して対応しています。



車椅子利用の方も傍聴できます。

本会議場には、昇降機を利用して、車椅子利用者の方が傍聴できる席（付き添いの方を除き約5名分）があります。利用される方は、市役所正面玄関の総合案内にお申し出ください。議会棟へ職員がご案内いたします。また、事前に議会事務局にご連絡をいただきますと円滑にご案内することができます。なお、定例会は6月、9月、12月、3月に開会される予定です。

どうぞご利用下さい ●議会事務局 TEL22-5111

(内線5623・5624)



予算特別委員会

9月18日に開かれた予算特別委員会から

質疑の主なものをお知らせします。

〔委員〕 新文化複合施設の工期延長に伴う増額補正について、

今まで市、受注者ともに責任がないと説明していたがお互いに責任があるとの説明に変わったのはなぜか。また、責任がどこにあるかについては、当初から、きちんとした説明を行わない、提案すべきではなかったのか。

〔建設部長〕 受注者は、工期を守り、決められた工事費の管理をしながら工事を進める役割があり、市は、工事に問題が起きた場合は、それを指導する立場にあることから、今回、工事費の増額や工期が延長になることについては、双方で対応が不足していたという意味合いでの責任があるということです。

〔委員〕 今回の新文化複合施設の工期延長は、平成26年2月臨時議会での否決が要因としてあるのではないかとの声があるが、再提案の際には十分な工期をとっていたはずであり、否決したことは、工事

の進捗に影響はないはずであるがどうか。

〔建設部長〕 議会の否決後に工程の見直しを行い、工事の時期や人員への影響について双方十分協議し工期を決定したものであり、影響はありません。

〔委員〕 乗り合いタクシーの運行に関連し、今後、運転免許を有しない人が住みやすいまちづくりをするのがコンパクトシティの理想と考える。そのため、合併以前の各村単位においてデマンド型の運行が必要と思うがどうか。

〔市長〕 米沢だけではなく、どの市もコンパクトシティの方向へ向かっており、交通ネットワークなどが充実した、コンパクトなまちづくりを目指しているかなければならないと考えております。

〔委員〕 いわゆるふるさと納税については、財政健全化計画でも一定額を見込める状況であり、市の財政にとってもより力を入れていくべきと感じ

ている。新たなメニューの検討、年次ごとのメニューの切り替え、情報の更新が必要と考えるがどうか。

〔総合政策課長〕 農産物を中心に返礼品を提供しておりましたが、パソコンを導入したことにより寄附金額が伸びたこともあり、今後、米沢市のブランドを高めていくためにも、農工業製品の返礼品を検討してまいります。

〔委員〕 ふるさと納税の返礼品について、米沢牛の返礼品は、米沢産の和牛だけではなくとしているが、市のネームバリューを上げ、生産者のモチベーションを上げるためにも米沢の地で生産された「米沢牛」が必要である。できる限り、産地が米沢のものを贈る努力をすることにより、生産者がやる気を出す。この感覚を大事にしていきたいがどうか。

〔総合政策課長〕 米沢牛に限らず、ご指摘のことは、大切なことと考えており、より寄附者の関心を得るための手段を検討してまいります。

〔委員〕 市の子ども・子育て支援事業計画の中でも学童保育の施設整備について記載されているが、市は、学校の余裕教室等を調査し、利用可能な

場所を示すべきではないか。

〔市長〕 市としては、空き教室を極力活用することが大事だと思っております。空き教室がないかどうかを、市として積極的に調査をし、放課後対策に利用できないか検討してまいります。

〔委員〕 道の駅の役割の一つとして置賜や山形県のゲートウェイ機能を前面に打ち出して、重点道の駅に選定されたが、近隣市町との協力関係を構築するため市長自らが先頭に立つて近隣市町長に働きかけをすべきではないか。

〔市長〕 道の駅だけでなく、基本的にさまざまに呼びかけをし、連携を取るといっておりますので、道の駅も連携をとってまいります。

〔委員〕 今回の大雨で初めて防災無線が使用されたとのことだが、発信された情報について外部からの問い合わせ等はなかったか。また、情報が発信されたときの動きなどを防災訓練でシミュレーションしてみてもっと活用できる方法を考えてはどうか。

〔危機管理主幹〕 発信された情報が、米沢市のみ表現だったため、市内のどこの場所が危険なのかとの問い合わせがありました。また、防災訓練

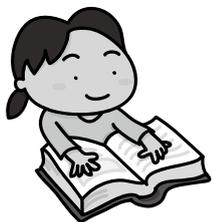
におけるシミュレーションは有意義なので実施してまいりたいと考えております。



▲防災無線が流れる緊急告知ラジオ今年度中に高齢者世帯等に配布予定

〔委員〕 毎年、小中学校の営繕整備について要望しても対応されていないものがあるが、教育委員会は、学校の現状を見て確認をし、必要な予算をつけているのか。

〔教育長〕 学校に配分する予算は、各校長から次年度の学校経営にかかわっての、要望をいただき、教育委員会で、精査しながら回答しております。満額の予算をつけるのはなかなか困難であるため、学校経営の思いを受けながら配分したり、必要な場合は教育委員会で直接営繕整備を行っております。



9月定例会で審議された議案等

議案番号	件名	結果
報第14号	平成26年度の決算に基づく米沢市健全化判断比率及び資金不足比率の報告について	承認
報第15号	専決処分事件の報告について	承認
認第1号	平成26年度米沢市一般会計歳入歳出決算	認定
認第2号	平成26年度米沢市国民健康保険事業勘定特別会計歳入歳出決算	認定
認第3号	平成26年度米沢市後期高齢者医療費特別会計歳入歳出決算	認定
認第4号	平成26年度米沢市介護保険事業勘定特別会計歳入歳出決算	認定
認第5号	平成26年度米沢市と畜場及び食肉市場費特別会計歳入歳出決算	認定
認第6号	平成26年度米沢市青果物地方卸売市場費特別会計歳入歳出決算	認定
認第7号	平成26年度米沢市下水道事業費特別会計歳入歳出決算	認定
認第8号	平成26年度米沢市農業集落排水事業費特別会計歳入歳出決算	認定
認第9号	平成26年度米沢市物品調達費特別会計歳入歳出決算	認定
認第10号	平成26年度米沢市南原財産区費特別会計歳入歳出決算	認定
認第11号	平成26年度米沢市三沢東部財産区費特別会計歳入歳出決算	認定
認第12号	平成26年度米沢市水道事業会計決算	認定
認第13号	平成26年度米沢市立病院事業会計決算	認定

議案番号	件名	結果
議第59号	米沢市教育委員会委員の任命について	承認
議第60号	米沢市まちづくり総合計画基本構想及び基本計画の策定について	可決
議第61号	米沢市一般職の職員に対する退職手当支給条例等の一部改正について	可決
議第62号	米沢市個人情報保護条例の一部改正について	可決
議第63号	米沢市市民ギャラリーの設置及び管理に関する条例等の一部改正について	可決
議第64号	米沢市手数料条例の一部改正について	可決
議第65号	米沢市市民バスの設置及び管理に関する条例の一部改正について	可決
議第66号	米沢市新文化複合施設新設建築工事請負契約の一部変更について	可決
議第67号	米沢市新文化複合施設新設機械設備工事請負契約の一部変更について	可決
議第68号	米沢市新文化複合施設新設電気設備工事請負契約の一部変更について	可決
議第69号	市道路線の認定について	可決
議第70号	平成27年度米沢市一般会計補正予算(第3号)	可決
議第71号	平成27年度米沢市国民健康保険事業勘定特別会計補正予算(第1号)	可決
議第72号	平成27年度米沢市介護保険事業勘定特別会計補正予算(第1号)	可決
議第73号	平成26年度米沢市水道事業会計剰余金の処分について	可決

請願及び意見書提出にかかる発議の採決結果は、18頁に掲載しております。

議案請願の賛否一覧表

◆9月定例会において賛否が分かれた議案についてのみ掲載しています。

議案番号 請願番号 発議番号	採決結果	明誠会		公明クラブ		一新会										日本共産党市議団		市民平和クラブ								
		木村芳浩	相田克平	島貴宏	小島一	佐藤弘司	山田富佐子	相田光照	成澤和音	中村圭介	鈴木藤英	皆川真紀子	堤郁雄	島軒純一	鳥海隆太	佐藤忠次	山村明	工藤正雄	齋藤千恵子	海老名悟	高橋英夫	高橋壽	小久保広信	太田克典	我妻徳雄	
9月定例会 認第2号	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認第3号	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認第4号	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第62号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第64号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願第6号	不採択	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×

認第1号、議第66、67、68、70号については、全会一致で可決になりましたが、山村 明議員は退席しました。 ○=賛成 ×=反対 欠=欠席 海老名 悟議長は採決に加わりません。

管外行政視察報告

総務文教堂任委員会

10月5日～7日

滋賀県守山市

中心市街地活性化事業

兵庫県伊丹市

ことばと読書を大切にする教育

岡山県岡山市

NPPO法人いたみタウンセンター

岡山県立図書館について



産業建設常任委員会

10月5日～7日

長崎県長崎市

創業支援窓口「創業サポート長崎」について

福岡県久留米市

久留米まち旅博覧会について

熊本県人吉市

※ハラール対応について



※ハラールとは、イスラム教の教えで許される物又は行為など、「健全な商品や活動」のこと全般を意味する

9月定例会で審議した請願の結果は次のとおりです。

請 願

..... 不 採 択

◆人種差別を扇動するヘイトスピーチを禁止し
処罰する法律の制定を求める意見書提出方請願
(請願第6号)

(在日本大韓国民団山形県地方本部
団長 車 壽鎔 他1名)

..... 採 択

◆TPP交渉にかかる国会決議の実現に関する
意見書提出方請願(請願第7号)

(山形おきたま農業協同組合
代表理事組合長 木村敏和 他1名)

意見書

◆TPP交渉にかかる国会決議の実現に関する
意見書の提出について(発議第7号)
(内閣総理大臣、財務大臣、外務大臣、農林水産大臣、
経済産業大臣、経済再生担当大臣あて)

9月定例会最終日に議員提出の意見書1件を原案
のとおり可決し、直ちに関係機関に送付しました。

市議会12月定例会 日程(予定)のお知らせ

- 12月 2日 開会(本会議)
- 4日 一般質問
- 7日 一般質問
- 8日 一般質問
- 9日 一般質問
- 10日 総務文教常任委員会
- 11日 民生常任委員会
- 14日 産業建設常任委員会
- 15日 予算特別委員会
- 16日 市立病院建替特別委員会
- 21日 最終日(本会議)

※請願の提出期限は、11月25日(水)
午後5時の予定です。日程は変更され
ることがありますので、傍聴の際は
議会事務局までお問い合わせくださ
い。

12月定例会から一般質問の
日程を4日間とする予定です。
これは、一般質問をする議
員数が増えてきたことに対応
するもので、議会活性化につ
ながるものと考えております。
ぜひ傍聴においでください。

第4回議会報告会・ 意見交換会を 市内17カ所で開催



10月9日(金)から30日(金)までの期間、
各地区コミュニティセンターを会場とし
て、市内17地区において議会報告会・意
見交換会を開催し、多くのご参加をいた
だきました。
皆様からいただいた貴重なご意見・ご
要望等については、各常任委員会等にお
いて精査を重ね、政策提言につなげてま
いりたいと考えております。
また、検討内容等につい
ては、次回の議会だより等
でお知らせいたします。

市議会のホームページ

会議録、市議会の概要、市議会だより、各常任委員会、
特別委員会の活動の様子などを紹介しています。また、
本会議は録画中継、委員会はライブおよび録画中継して
おります。アドレスは下記のとおりですのでぜひご覧ください。

<http://www.city.yonezawa.yamagata.jp/1013.htm>
詳しくは議会事務局へお問い合わせください。
Tel. 22-5111 (内線 5623・5624)



あ と が き

山々も鮮やかな紅葉に色づ
き、目を楽しませてくれてい
ます。

改選後2回目の定例会とな
りました9月議会では、過去
最多となる20名の議員が一般
質問を行いました。今まで以
上に、活発に活動をしており
ます。

このたびの議会報告会でご意見
いただいた皆様からのご意見、
ご質問につきましても、市政
発展のために生かしていきたい
と思います。

また、議会をより知ってい
ただくために、現在ホーム
ページのリニューアルを進め
ております。各議員の思いや
政策なども掲載していきたい
と思っておりますので、ぜひ
ご覧ください。

これからも、皆様のご理解
とご協力をよろしく願いい
たします。

【編集副委員長 小島 一】

○議会だより編集委員会

- 委員長 山田富佐子
- 副委員長 小島 一
- 委員 相田 光昭
- 成澤 和音
- 高橋 英夫
- 太田 克典